

■ 地元（津戸・三郷）の皆さまと市長が話し合いをしました

4月21日に三郷クラブにおいて、市議会三会派の要請により大山市長が出席し、地元の皆さまと話し合いをしました。

地元の主な主張

現在稼働中の苗木浄化センターの建設場所が変更になったのは市のミス。

苗木浄化センターの残地は「住宅地にする」「運動公園にする」と市が地元と約束をした土地。

市の回答

● 過去における苗木浄化センターの建設場所の変更を謝罪しました

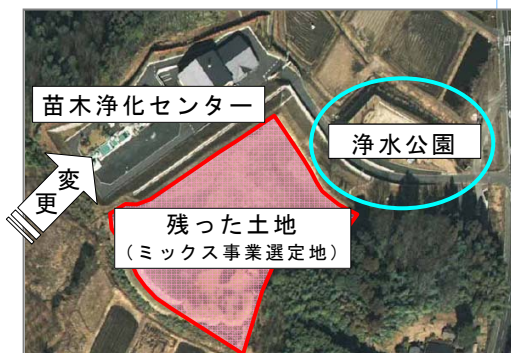
- ▶ 当初の建設予定地は、土地境界の確認が不十分であったため、平成6年に取得が困難であると判明。
- ▶ 市は土地取得を断念。計画を見直し、建設場所を変更。
- ▶ 大山市長は、市のミスを認め地元へ謝罪。

● 「宅地造成」より「浄水公園」へ変更し用地取得

- ▶ 地元から今のミックス事業選定地を含めた全筆買収の要望があり、「宅地造成事業用地」として取得すると地元関係者へ回答。
- ▶ しかし、円滑な用地取得をすすめるには、その土地も公共事業用地として事業認定を受ける必要があると判断。
- ▶ 「宅地造成」より、「浄水公園」の位置付けで事業認定を受けた。

● 「多目的グラウンド（運動公園）」の約束はしていません

- ▶ 「浄水公園」は、入口付近の一部を地元の要望も取り入れて整備した。
- ▶ 残った土地は、「浄水公園」の機能の一つとして、事業認定上「多目的グラウンド」と位置付けたもの。
- ▶ 市は、「多目的グラウンド」について、地元へ一度も正式に提示も説明もしていない。
- ▶ 平成18年の苗木地区市政懇談会において、市は将来の土地利用について「今後検討する」とのみ回答。
- ▶ 大山市長は、残った土地の明確な利用方法を、これまで地元へ説明せず、誤解を与えてしまったことを謝罪。



■ 地元（津戸・三郷）の皆さまに、市は粘り強くお願いしていきます

- この土地をミックス事業等に活用させていただけるよう、地元の皆さまに市は粘り強くお願いしていきます。
- 市内ですべての汚泥を処理するために、一刻も早くミックス事業等が推進できるようご理解ご協力をお願いします。

先進施設見学会への参加者募集！最先端の施設を見にいきませんか！

最新式の汚水・汚泥処理システムや防臭のしくみを体感してみませんか。最先端の設備にきっと驚くと思います。当市が計画している汚泥を資源化する環境に配慮したリサイクルシステムもご覧いただけます。

申込先 市下水道課までお電話・メールにてお申してください。

電話 66-1111 内線520

Fax 65-7626

Mail gesui@city.nakatsugawa.lg.jp

申込期限：平成21年6月12日（金）

見学日 平成21年7月2日（木）AM8：30 市役所出発

見学先 美濃加茂市 緑ヶ丘クリーンセンター、桑名市 桑名広域環境管理センター

募集人数 40名 ※お申込者様には別途詳細をお知らせします。申込者多数の場合は二次開催も検討します。
※参加費は無料ですが、昼食は各自にてお願いします。

桑名広域環境管理センター



【参考】 これまでにお伝えしてきたこと（ミックス事業ニュース No. 1～2 のまとめ）

■ミックス事業って何？なぜ必要なの？

重要課題

- ・ 下水・し尿汚泥の市外処理コストが市の財政を圧迫
- ・ 衛生センターの老朽化による維持修理コストが市の財政を圧迫

ミックス事業等で解決します

耐用年数を大幅に超過した衛生センターの新設および国からの補助金を最大限活用できる**汚水処理施設共同整備（ミックス）事業**により、下水道汚泥、し尿汚泥の乾燥施設を建設し、処理コスト、維持修理費の削減を実現します。

重要課題

1. 下水道・し尿汚泥処理の問題

問題点①

下水道汚泥は市内に乾燥施設がないため焼却できない

- ・ 多治見市など市外で処理
- ・ 多額の処理費用

年間 8,500万円

問題点②

し尿汚泥は肥料などに資源化できるが市内に乾燥資源化施設がない

- ・ 一部を京都府など市外で処理
- ・ 多額の処理費用

年間 2,400万円

2. 衛生センターの老朽化

問題点③

耐用年数を大幅に超過

- ・ 維持補修費が増大

年間 2,300万円

※金額は平成 19 年度の実績

解決方法

3つの問題を一度に解決します

汚泥乾燥施設建設
ミックス事業

① 下水道汚泥

② し尿汚泥

③ 衛生センター建設事業

ムダな支出を削減

- ・ 汚泥の処理費用を削減
- ・ 老朽施設の維持修理費が不要

有利な財源を活用

- ・ 国の補助金を有効活用

汚泥の市内処理

- ・ 環境センターで焼却
- ・ 肥料などに資源化

■苗木浄化センターに隣接する市有地を

ミックス事業等の最適地として選定しました

技術的専門機関である社団法人全国都市清掃会議監修の計画設計要領に基づき、**33ヶ所の候補地の中から1ヶ所を厳正・公正に選定**しました。

候補地の選定区域を設定

33ヶ所

実現性を重視した検討

6ヶ所

コスト面を重視した検討

苗木浄化センターに隣接する市有地が最適地

市全体から見たし尿収集運搬の効率を考え、し尿収集人口の重心地から半径 5 km 以内を選定区域とし、その中から 32ヶ所を選定後、地元提案の 1ヶ所を加え 33ヶ所を候補地としました

事業の実施が可能か（地形や地質、放流先への距離など）を比較検討し上位 6ヶ所を選定しました

評価項目に**コスト面**（進入道路の有無や施設造成費、用地買収の必要性など）を加えて比較検討しました

評価採点の結果（24点満点）

苗木浄化センター隣接地 **23点**

他の上位5ヶ所 12点～17点

臭いは外に出しません
環境現況調査を実施します
環境影響評価を実施します
二重扉を設置します
脱臭設備を設置します

- ムダなコストを削減し皆様の税金を大切に活用します。
- 近隣住民にとって迷惑となるような施設は建設しません。
- 資源循環を促進し環境にやさしい中津川をめざします。

問い合わせ先 水道部下水道課 0573-66-1111（内線 520）